

(別紙4(2))

事業所名 あいの街高塚

目標達成計画

作成日: 平成28年3月3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	「発災時はサイレン付きメガホンで～」と民生委員と自治会長には実演済みで協力関係がありますが、前年度の外部評価で未達成だった目標(防災面から事業所内部を知ってもらう機会を設ける)が実現することを期待します。	近隣住民を招待する形式のイベントを開催し、有事の際に協力を得られるように、施設内の構造や、利用者の状況を紹介します。	町内の秋祭りの開催日にあわせ、施設内に、ご利用者様と作成したクラフトや、普段の様子を撮影した写真などを展示して、近隣の方に施設を見学して頂くように企画、実行します。	8ヶ月
2	7	職場会議では決まった人の発言になりがちのことでした。1分間スピーチや事前メモ(意見)の提出といった工夫を期待します。	全ての職員が発言できる議題を会議体に設定します。	2名1組のペアを作り、現状の問題点、改善点、企画提案など、毎月の職場会議にて順番に議題を提起し、職員全員で話し合いをする場を設けます。	3ヶ月
3	10	プランの周知と記録への連動により職員の理解の標準化が進むことを期待します。	書面だけではなくプランの説明を実施する機会を設けます。	モニタリング、サービス担当者会議、プラン説明会の年間計画を策定し、ケアマネジャーからプランの説明を行います。質疑にも応じてケアの標準化を図ります。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。